灘ちゅう子

特別版

～妹尾先生の講演より～ 地域の誇り灘浜

↑ ハーバーよし木場ヨットハーバーの環境教育の講演会にて 妹尾達樹先生＝10月11日(火)，灘中体育館

海が真っ白!?

海外の人は、瀬戸内海に入った途端、島々の岸辺が真っ白で驚くそうです。昭和58年以前は、家庭の排水と共に、家の前の八家川は、ビルカラプタン…などが流れこみ、まさに排水ラインでした。

へど口

へど口とは、工業排水や下水などが合って、住民の方は、川や海の底にどろどろの物質がたまれるようになって沈んだものです。へど口にも、悪臭に困る、鉄がさびる、仏壇の金具が黒ずむなどの被害にあったりしました。

そして、今も、ぶくぶくと言われた八家川ボラが泳ぎ、妹尾先生達の懸命な努力があったからだと思います。

小赤壁

瀬戸内海の海岸で自然のままの海岸が残っているのは、ここだけです。昔は小赤壁とたくさんの人が訪れていたと思います。まさに妹尾先生は、"海の父"!!と言われる近代化に伴い、埋め立てが進んでいます。今では、釣りをしたり、遊びに行ったりする人が少なくなってきました。

生徒感想

【1年男子】
なんといっても、話の中で一番すごかったのは、八家川から出た有毒なガスが原因で、物がさびたことです。海が汚れて魚が死んだら、みんなが困ると思いました。

【1年女子】
私は、今年木場ヨットハーバーでの行事に参加して、ヨットレースをしました。その時に、少しだけ海に入って泳がせてもらいました。とても気持ち良かったので、昔のことが信じられません。講演を聞いて、私達のせいで汚くならないように、気をつけたいと思いました。

【2年女子】
私は、あんなに汚い水を見るのは、初めてでした。見ただけでも、臭そうだし、普通の水よりも、どろどろという感じがありました。人間が出してしまったゴミが、あんな状態までなって、海や川を変えてしまう、たなんて、驚きの気持ちでいっぱいです。

【3年女子】
私は小学生の頃、木場ヨットハーバーの近くで、あさりをとったことがあります。小さくても、とれるまで、とても努力して下さっていたんだと分かりました。

【3年男子】
火が消えるはずの水が燃える？て、どんな感じなんだろう。全然想像できない。そんな無茶苦茶な海をここまできれいにしてきた妹尾さんは、心から海のことを考えていて、行動できる人だと思う。

【2年男子】
自分達の町灘校区は、あり山あり川ありと、自然に恵まれた、素晴らしい町だと思います。講演をきいて、やっぱり、自分達できれいにしないといけないんだなあ…と、思いました。

編集後記

妹尾先生の話を聞いて、改めて自然の大切さを知りました。今までは海や川、山が自分たちにあることが当たり前だと思っていました。最近は、どこの海や川、山を見てもたくさんのゴミなどが見られます。その原因は、きっと一人一人の少しだけなら…という気持ちで、ポイ捨てをしている人が増えてきているからだと思います。皆が一つになって守りましょう。

瀬戸内海の海岸で自然のままの海岸が残っているのは、ここだけです。
昔は小赤壁とたくさんの人が訪れていたと思います。

一人一人の意識が変われば、今のような環境はすぐに変わることはありません。灘ちゅう子は自分から、灘ちゅう子としてきれいな海をつくっていきましょう!!

私たちと海との関わり

海ありがとうフェスティバル

生徒会では、4月10日、きれいな海を守るために、そしていろいろな方（障害をもった人、外国の人、小さな子ども、年寄り）と交流するため、海ありがとうフェスティバルに参加しました。

当日は、天気予報では雨だと言っていたのに、快晴で、ほとんどの人が日焼けをしました。（とても暑かったです。）

私たちは、魚のつかみどりとスポーツチャンバラ、フライングディスクのお手伝いをしました。魚のつかみどりは、その名の通り、地引き網でとった魚をつかんでとるイベントです。とった魚は焼き魚にして食べました。（ボラが以外においしかったことにビックリしました。）

スポーツチャンバラは、小さい子たちが、本気で戦ってきて、とても、いい運動になりました（笑）

フライングディスクは、フリスビーを輪の中に入れて、入った回数をきそうものです。この競技はだれでもできるゲームです。車イスに乗っている人もできるし、手が不自由な人は、足を使ってできます。つまり、バリアフリーのゲームなのです。私たちも、やってみましたが、本当に楽しかったです。

〈元気玉〉

海ありがとうフェスティバルでは、掃除をしてから、「元気玉」を投げ入れました。「元気玉」というのは海をきれいにするダンゴです。その中には、EM菌という微生物がまざっています。このダンゴ作りも手伝いました。その時に聞いた話によると、このEM菌はあまりにもきたない状況の中に入れられると、悪い微生物となって、反対に海を汚してしまうことになるそうです。

美しい海を汚してしまうことにならないようにしなければなりません。美しい海を守るためにも海を汚さない努力が必要だと思いました。

フリートーキング〔海のトライやる〕

えな→今から海のトライやるのフリートーキングを始めます！

ゆり→海のトライやる、て木場のヨットハーバーで…何日や、た？

りゅうた→あー。たぶん七月三十日でしたよ！ぼくは休んでたんで…。

けんご→じゃあ、なんでココにおるん？

りゅうた→えー。先輩と話したいんで…。

ゆり→リュウた、かわいい！

えな→海のトライやるの時、始め船で役クローブの結び方を海上保安庁の方々に教えてもらったよな～。

けんご→あー。メッチャ難しかったなー。あれ。

ゆり→でその後、船長さんの紹介があって、あの時、男子と女子で違う船に乗ったよな。

りゅうた→だれも酔わなかったんですか？

けんご→酔。と、たー！ゆうじが…。

えな→くったりしとったなー。で、十何度くらいでミニ三角レースしたよな！男子の船に女子が乗ったよね～。

ゆり→あの時、私たちが操縦してレースしたな！

えな→そーそー。慣れたら簡単やった。ケドなんところで船に乗ってて気になったことはないですか？

けんご→スーパーのふくろとかのゴミがけっこうあったな。歴から見たらなさそうやワド…。

りゅうた→そうなんすか！？海岸にもゴミがいっぱいありますよね～？

ゆり→うん。あるなし。それって私たちが拾わないとあかんよな～。私たちの海やし！

けんご→そーやな。おれ達が、がんばってキレイにしないと…。

えな→木場ヨットハーバーの球磨さんがこの前、海の環境教育でわったよな～。

けんご→そうそう！海に来たら落ちているゴミを一つは拾っていこう！ということやんな。

ゆり→うん。海に行く予定があるときは**ゴミ袋を持っていく**ぐらいの気持ちは、持ってた方がいいね！

けんご→そーやな。じゃ、海行こ。掃除をしに…。

海ありがとうフェスティバル←イベント後の清掃活動

海のトライやる→ヨット体験